



「笹部地区開発を考える連絡会」が発足 よい良い住環境の確保求め、情報共有、意見交換

周辺地区ともネットワーク

「笹部地区開発を考える連絡会」(山下自治会大蔵班)が11日、山下自治会館で開かれました。この間、お伝えしている笹部地区住宅開発計画が、近隣住民との調和と共生、日照権や騒音、振動対策、交通安全などの面により良い住環境が確保されるよう、山下、笹部、下財など周辺地域と住民ネットワークを作り、情報の共有や意見交換していく方向性が確認されました。

開発の事業主はたいせい住宅兵庫(株)、設計者栄光開発、施行者池下組です。

担当「正式には聞いていない」

最初に、参加者から「C街区の貯水池・公園設置について、市の下水道や公園の担当課は、開発の相談は受けているが、正式な手続きはまだ。図面もきていないとのこと」。

「住民説明会も頓挫したまま、兵庫県の管轄部分も市の方には降りてきていない」との現状が報告されました。

立ち話の説明に非難

別の参加者から「10月19日にB街区の説明会が行われたが、看板の前での立ち話しの説明に参加者から非難の声が多く上がった。生活道路なので工事車両の通行は困る。宅地造成の高さは下げるべき。安全確保のためのガードマン配置や作業時間などへの意見と、開発計画を知らない方が多いので、説明会を開催するべき」

B街区は、市の開発許可があり、C街区に土砂を運んでいるようだ。鹿が出るなど、反対や不安の声が出ていることが報告されました。

参加者の意見を紹介すると

責任を果たすよう指導を...などの意見が出されました。

家屋の被害だけでなく健康への手だての必要性、既存の用水路の存続、騒音を計る機器の取得、こども達の通学の安全確保などへの疑問や要望も出されました。なかでも、情報を共有していくことの大切さ、諦めないでみんなで言っていくことの必要性が多く語られました。

情報共有し、要望提出申し入れ

おわりに、「この開発計画を知らない人が多いこと、「もう決まっているのだから」と諦めている人、実際に工事車両が走り出し、困難に直面した人が集まることのできる拠点として、このような場所(連絡会)が必要。事業者との懇談、要望書提出や周辺地域に知らせていく活動を続けていきたい」とまとめられました。

知らない人、地域で温度差

○まだまだ、開発のことを知らない人が多いし、道を一本隔てただけで温度差がある。だからこそ、こうして、みんなで話し合うことが必要

○今までの生活が変わることが不安。騒音や振動など工事のストレスはいろいろ

事業者の説明地区で異なる

○笹部、山下、下財で事業者の話している内容が違う。3地区でしっかり話をすることが大切

○事業者の誠意は伝わっていない。あきらめずに言っていく

○平面の図面だけではわからない。市は、事業者に誠意をもって説明



11月13日...なんと、猪名川町大野アルプスランドで初雪のニュースが。我が家は5℃、1市3町広域ごみ処理施設組合議会、臨時会と議員総会へ

ダイオキシンの排ガス基準が日本一と言われた国崎クリーンセンター本格稼働から約14年。長寿命化のための基幹改良事業と包括管理運営業務について

この13年間で、4市町の総ごみ搬入量は、約10%減、1t当たりごみ処理経費は1.91倍に

人口は、川西市95.8%、猪名川町90.1%、豊能町78.3%、能勢町73.8%になっています。

これからの15年、20年を見据えた計画を決める今後2年間となります。私たちの街の未来を決めていく税金の使い方。しっかり考えていきたいですね

兵庫県立川西カリヨンの丘特別支援学校～内覧会

11月11日、丸山台3丁目で建設、来年4月1日開校予定の川西カリヨンの丘特別支援学校の内覧会が行われ、見学させて頂きました。(QRコードで学校ホームページへ、校内の様子がたくさんの写真で紹介されています)

「かけがえのない一人 温かい集団 つながりあう社会」を校訓に「児童生徒一人ひとりの人権と個性を尊重し、自立と社会参加に向け、豊かな心と主体的に考え行動する力を養う」学校教育目標としてかけ、小学部、中学部、高等部の生徒120人が通います。たくさんの地域の方が見学に来られたようです。こども達の成長発達を健やかに育てていける地域にしていきたいですね



12月3日で終わってしまう「妙見ケーブル」行ってきました

ケーブル・リフト・バーベキューテラスが12月3日で終わってしまうとあって予約いっぱい混雑を予想していたのですが、雨降りのおかげでゆっくりとケーブルに乗り、妙見の森バーベキューテラスへ行って来ました。炭火の良い匂い、温かい炎を囲んでの焼肉、黒豆茶などを頂いて、ケーブル乗り場にある足湯にも楽しいひと時を過ごすことができました。帰りには、サワガニがお見送りに来てくれました

持続可能な公共交通。ここでも、民間事業者の努力や運賃だけでは解決できない、基本的人権を堅持していくためにも、「公共」を本気で守ってくれる政治に変えていきたいねえ～と会話が弾みました

